



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

「寮生徒会オリエンテーション」が行われました

四月五日（金）楠隼寮には新たに中学生五四名と高校生七名の合計六一名が寮生活をスタートさせました。在校生を含めると二九〇名での寮生活となります。

全寮制である楠隼中学校・高等学校は親元を離れて、全国各地から生徒が集います。この日の午前中は荷物の搬入や物品購入があり、寮生活や学校生活の準備を行いました。午後からは入寮オリエンテーションが行われ、生徒・保護者ともに寮生活の決まりについて確認しました。

夕方以降はゴミの捨て方・食事のとり方・入浴の仕方などを二年生の先輩たちが新入生へ教えました。20時からは寮生全員が集まり、寮則の確認や外出の仕方・点呼の出席の仕方など基本的な一日の生活の流れを学びました。

同じ経験をしてきた先輩たちの話に、新入生は注意深く話を聞いていました。

寮生徒会オリエンテーションの後半部分では、レクリエーションを通して、お互いの共通点を確認したり、名前と顔を覚えた

りして緊張をほぐしながら活動することができました。一日も早く寮生活に合わせた自分の生活リズムを作り上げ、楠隼生としてたくましく成長してほしいと願っています。



高校

「第五回入学式」が行われました

四月六日（土）、桜が満開に咲き誇る暖かい春の日に、第五回入学式が行われ、新たに中学五四名、高校五六名が楠隼生となりました。新入生は緊張した表情の中にも、これから始まる楠隼での生活に夢と希望を膨らませているようでした。楠隼高校の新入生代表のあいさつを行ったのは、松尾純暉くんでした。「今日からそれぞれの目標を達成する三年間が悔いがない、思い出深きものになるように、仲間とともに歩んでいきます。」と力強く述べてくれました。入学式終了後、各クラスの記念写真撮影が行われ、会場は和やかな雰囲気になりました。その後、新入生や保護者は楠隼ホールで昼食をとりました。新入生には給食がありました。さらに肝付町の女性団体連絡協議会や教育委員会の方々から豚汁とおにぎりを振る舞っていただき、その心温まるおもてなしに新入生や保護者の方々は笑顔でいっぱいでした。いつも支えてくださる地域の方々の応援を背に、五年目を迎える楠隼中高一貫教育校は日々成長し続けます。

